

2019年 6月18日  
(一社)白井工業団地協議会

## 産学連携に関する協定調印式について

日本大学生産工学部（学部長 落合実）と一般社団法人白井工業団地協議会（代表理事 野水俊夫）は、地域における産学連携活動を推進するため相互に協力し、もって地域の中小企業並びに地域社会の発展に貢献し、人材育成及び学術の振興等に寄与することを目的として産学連携に関する協定書を締結することとなりました。

また、この協定には、まちづくりや地域産業の振興などの観点から支援機関として白井市（市長 笠井喜久雄）も加わっております。

つきましては、協定書調印式を下記のとおり行いますので、ご多忙な折恐縮ですが、ご参加のうえ、取材くださるようご案内いたします。

### 記

日 時 2019年6月28日（金）午前11時から

場 所 白井市役所 東庁舎1階・101会議室

### 【お問合せ】

(一社)白井工業団地協議会・事務局

電 話 047-491-0224

F A X 047-491-0222

Mail jimukyoku@shiroikyougikai.jp

# プレス発表 次第

日 時：2019年6月28日（金）

11:00～11:45

場 所：白井市役所

東庁舎1階・101会議室

進 行：（一社）白井工業団地協議会  
事務局長

1 件 名 産学連携に関する協定調印式について

2 出席者 日本大学生産工学部

学部長	落合 実
事務局次長	村上 芳孝
就職指導担当	澤野 利章

白井市

白井市長	笠井 喜久雄
市民環境経済部長	川上 利一
産業振興課長	川村 俊男

一般社団法人白井工業団地協議会

代表理事	野水 俊夫	（野水鋼業(株)）
副代表理事	白山 良一	（(株)シラヤマ）
副代表理事	駒村 武夫	（(株)ソフケン）
副代表理事	藤本 秀樹	（フクダ電子(株)）
顧問	日色 進	（(株)進富）
専務理事	染谷 敏夫	（協議会事務局長）

3 次 第

（1）協定概要の説明

（2）調印式

（3）挨拶

日本大学生産工学部	学部長	落合 実
白井市	市長	笠井 喜久雄
一般社団法人白井工業団地協議会	代表理事	野水 俊夫

（4）出席者紹介

（5）質疑応答

# 産学連携に関する協定について

## 1 目的

日本大学生産工学部と（一社）白井工業団地協議会は、地域における産学連携活動を推進するため相互に協力し、もって地域の中小企業並びに地域社会の発展に貢献し、人材育成及び学術の振興等に寄与することを目的とする。

なお、白井市は、まちづくりの推進、地域産業の振興及び市民福祉の増進の観点から必要に応じ協力・支援するものとする。

## 2 提携・協力事項

- (1) 企業からの技術等の相談対応に関すること
- (2) 企業等からの経営革新、技術開発及び商工農などの企業間連携など、共同研究等の推進に関すること
- (3) 大学発ベンチャーの推進・支援に関すること
- (4) インターンシップに係る学生の受入れに関すること
- (5) 学生と企業間の就職活動に係る取組みの推進に関すること
- (6) 調査、セミナー等への企画・実施に対する甲の教員、学生の参画及び授業、研究会等への乙の会員やその傘下企業等の参画に関すること
- (7) その他産学連携活動に寄与する事項の推進に関すること

## 3 連携により期待される効果

本連携により、（一社）白井工業団地協議会には、多種多様な業種の中小企業が加盟しており、大学研究シーズとこの地域中小企業のニーズをマッチングさせ、新たな事業、商品、技術等の開発が期待される。

また、各企業と大学の教授や学生との交流を通して、双方において人材育成を図ることができる。

- ・大学側にとっては、インターンシップなどを通して学生の研究能力や経営能力の向上などの教育の向上に繋がるとともに、企業とのネットワークが構築できることで、研究・開発に多面的な視点を取入れることができるなど、大学発ベンチャーにも繋がる。
- ・一方、企業側にとっては、大学の教授・研究室や学生との交流を通して将来の人材確保、研究委託や共同研究などに繋げることができる。

## 4 特徴

### (1) 日本大学生産工学部

日本大学生産工学部は、日本で唯一の生産工学部として、ものづくりだけでなく、経済や社会との関りを含めた「経営がわかる技術者」を育成している。

工学の専門知識に加えて、経営・管理の能力が身につく学びとして、機械工学科、電気電子工学科、土木工学科、建築工学科、応用分子化学科、マネジメント工学科、数理情報工学科、環境安全工学化科及び創生デザイン学科の9つの学科が設置され、多様な教育が進められている。

### (2) 一般社団法人白井工業団地協議会

白井工業団地は、千葉県内の内陸工業団地では、企業数が最も多く大規模な工業団地であり、中小企業が中心であるが、鉄鋼業、プラスチック製品・金属製品・

非鉄金属製品・一般機械器具・精密機械器具・木製品及び食料品などの製造業や運輸業、金属材料等卸業、建築・土木工事業、建築・土木資材機器等リース業、産業廃棄物処理業、クリーニング業など、多種多様な企業からなっている。また、高い技術力を持った企業が多く立地している。

一般社団法人白井工業団地協議会には、これらの企業が約230社加盟しており、協議会では、会員企業の交流事業、各種技能講習会・研修会、労働安全衛生事業及び地域交流など、49年にわたり幅広い活動を展開しており、豊富な経験と強い組織力により地域産業の振興に寄与している。